

第2章 教育事業の実際

モデル的プログラム開発事業

ふるさと体験活動教室

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
[後援] 熊本県教育委員会・阿蘇市教育委員会
[協力] 阿蘇市立阿蘇西小学校・阿蘇市尾ヶ石東部小学校・阿蘇市立内牧小学校
阿蘇市立乙姫小学校・阿蘇市立宮地小学校
[期間] 平成24年7月30日(月)～8月3日(金) 4泊5日
[実施場所] 国立阿蘇青少年交流の家 他
[参加者] 阿蘇市立尾ヶ石東部小学校4年生2名・阿蘇市立内牧小学校4年生8名
阿蘇市立乙姫小学校4年生8名・阿蘇市立宮地小学校4年生34名

[検討委員会委員]

千葉大学教育学部	教授	明石 要一 氏
熊本県阿蘇教育事務所	指導主事	有住 尚之 氏
阿蘇市教育委員会	教育部長	岩下 哲郎 氏
阿蘇市教育委員会	審議員	井上 利之 氏
阿蘇市立阿蘇西小学校	校長	山内 和弘 氏
阿蘇市立尾ヶ石東部小学校	校長	和田 孝司 氏
阿蘇市立内牧小学校	校長	中野 晃 氏
阿蘇市立乙姫小学校	校長	高本 省吾 氏
阿蘇市立宮地小学校	校長	森 隆一 氏

[講師]	高森お話の会	民話・昔話	後藤 良子 氏
	高森お話の会	民話・昔話	長崎てつよ 氏
	高森お話の会	民話・昔話	沼田 洋子 氏
	高森お話の会	民話・昔話	住吉美智子 氏
	研修指導員	野外調理	篠田 美恵 氏
	阿蘇神社学芸員	阿蘇神社説明	池浦 秀隆 氏
	九州バイオマスフォーラム	紙すき体験・草原の働き紙芝居	藤田 幸代 氏
	小堀牧場	牛のえさやり体験	田島今朝信 氏
	阿蘇火山博物館	火山防災学習	池辺伸一郎 氏
	研修指導員	キャンプファイヤー	薄井 良文 氏

1 趣 旨

「阿蘇市自然体験活動の推進に関する条例」の施行を受け、阿蘇市の児童が、阿蘇の自然を生かした体験活動を、国立阿蘇青少年交流の家を拠点に、阿蘇地域の人材の協力のもと行い、阿蘇のよさを発見することをねらっている。

2 目標

- (1) 自然体験活動をととして、自然の美しさやふるさとのよさに気づかせ、郷土を愛する心を育てる。
- (2) 自然体験活動をととして、一人ひとりが自ら考え、自主的に活動しようとする態度を育てる。
- (3) 自然体験活動をととして、思いやりの心やおたがいに助け合おうとする態度を育てる。



3 事業展開

(1) 研修プログラム

	7月30日(月)	7月31日(火)	8月1日(水)	8月2日(木)	8月3日(金)
	友達との出会い	水との出会い	草原との出会い	山との出会い	友達との別れ
		命の源を探そう	草原の音や匂いを感じよう	友達と助け合おう	
午前		水源探検	すすきを使った紙すき体験	火山博物館見学	ふりかえり 別れのつどい 退所式
午後	なかよしになろう 入所式 出会いのつどい 野外調理 (阿蘇ハヤシライス)	水基めぐり 野外調理 (阿蘇高菜飯)	テント設営 草原での民話劇練習 牛のえさやり体験	杵島岳登山	
夜	阿蘇の民話を聞こう ふり返り 本館泊	民話劇練習 ふり返り 本館泊	民話劇練習 ふり返り 草原テント泊	キャンプファイヤー (民話劇発表) ふり返り 草原テント泊	



※台風接近のため7月31日(火)と8月2日(木)のプログラムを入れ替えた。

※草原テント泊も参加児童の安全面を考慮し実施していない。

(2) 目標達成のための工夫

① 「山」「草原」「湧水」との出会い

子ども達に、阿蘇の自然を身近に感じてほしいと思い、阿蘇の特長である「山」「草原」「湧水」の3つのステージに分けて、活動プログラムを仕組んだ。1日1日にテーマを設け、初日は、アイスブレイキングや調理活動をととして、友達と触れ合う、「友達との出会い」というテーマを設定した。2日目は、「命の源を探そう」というテーマで、水源探検や水基めぐりを行う「水との出会い」の日にした。3日目は、命の



源の水が育んだ「草原の音や匂いを感じよう」というテーマでスキを使った紙すき体験や草原で民話劇の練習を行い「草原との出会い」の日にした。4日目は、「友達と助け合おう」というテーマで、登山をとおして、助け合う「山との出会い」の日にした。最終日は、ふり返りや別れのつどいをとおして「友達との別れ」というテーマを設定した。



草原での民話劇の練習

- ② 野外調理やテント泊などの体験活動を多く取り入れる
 野外調理やテント設営など、子どもが不慣れな活動では必ず失敗や挫折を伴う。その活動の中で、「なぜ失敗したのか」「次はどうしたら成功するのか」を考えさせた。子ども達が、自主的に考える場面を設定した。



キャンプファイヤーの様子

- ③ 児童が交流する場面を数多く設ける
 民話劇の練習や発表、毎日の活動のふり返りなど、班での話し合いや活動をとおして、おたがいに協力し、助け合おうとする場面を設定した。

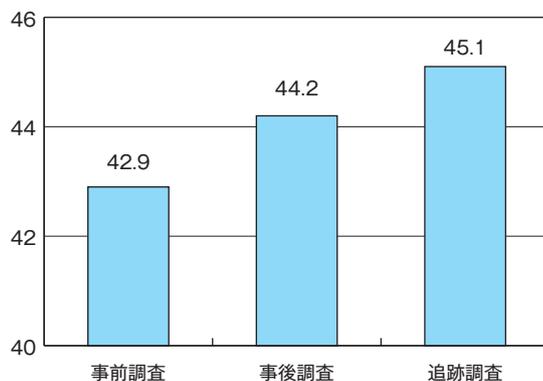


杵島岳山頂にて

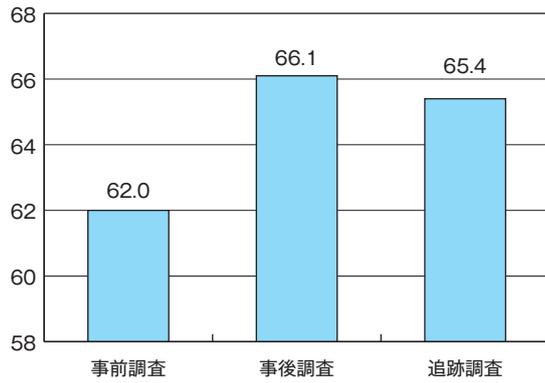
4 結果

児童の変容については、IKR（生きる力）アンケートとふるさと阿蘇（ふるさと愛着度）調査をもとに調べた。

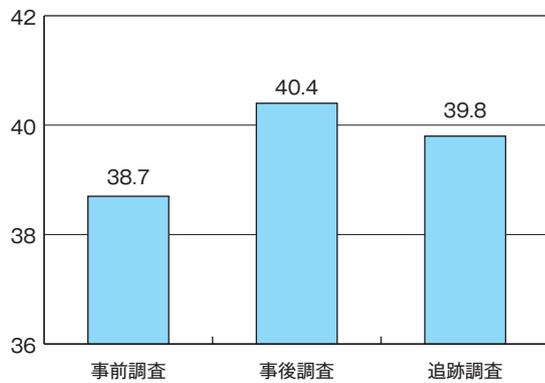
- (1) IKR（生きる力）アンケート結果より
 目標1 「阿蘇の自然に進んで親しもうとする心の育成」
 （IKR調査に独自に加えた項目の数字をグラフ化）



目標2 「自主的に活動（チャレンジ）しようとする心の育成」
 （IKR調査の「心理的社会的能力」という項目の数字をグラフ化）



目標3 「おたがいに協力し、助け合おうとする心の育成」
 （IKR調査の「徳育的能力」という項目の数字をグラフ化）



(2) ふるさと阿蘇（ふるさと愛着度）調査より

問い 1 「次の所に行ったことがありますか？（また）行ってみたいですか？」

事業前（行ったことがありますか？）	
阿蘇山（五岳）	46%
火山博物館	32%
砂千里	6%
草千里	26%
大観峰	60%
草原	56%
あか牛	56%
野焼き	78%
水基めぐり	30%
水源探検	34%

事業後（行ってみたいですか？）	
阿蘇山（五岳）	88%
火山博物館	82%
砂千里	78%
草千里	84%
大観峰	86%
草原	94%
あか牛	72%
野焼き	78%
水基めぐり	80%
水源探検	90%

<ul style="list-style-type: none"> ・水がきれいなこと。 ・水がきれい。 ・阿蘇神社の水がとてもおいしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・湧き水がたくさん出ている。 ・水がきれい。 ・きれいな水があること。 ・湧き水がたくさんとれる。 ・阿蘇神社の水がおいしい。 ・水がきれいでおいしい。 ・水がいっぱいあってうまい。 ・緑がいっぱいあって、湧き水がたくさん出ている。 ・水がおいしかったこと。 ・水がきれいなこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・山に囲まれていること。 ・カルデラがきれいです。 ・阿蘇山が大きい。 ・阿蘇山があること。 ・山がたくさんあること。 ・カルデラが美しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火山がすごい。 ・きれいに見える阿蘇山。 ・火山がすごい。 ・カルデラがきれい。 ・阿蘇の山が大きい。 ・阿蘇の山は多い。 ・阿蘇は山に囲まれている。 ・どこから見ても山が周りにあること。 ・火山がかっこいい。 ・山がきれいで草原がたくさんある。 ・山がいっぱいあるから山登りもいい。 ・活火山があるところ。 ・カルデラがきれい。 ・山がたくさんある。 ・五岳がある ・山からの風景がきれい。 ・山の景色がきれいなこと。 ・五岳があること ・山の景色がきれいなこと。 ・カルデラに囲まれている。 ・阿蘇山がある。 ・ねはん像が有名なところ。 ・カルデラになっている。 ・森や山があること。
<ul style="list-style-type: none"> ・草原がたくさんある。 ・草原がきれい。 ・牛や草原などの自然がいっぱいなところ。 ・草原がすごい。 ・草原がきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・草原が広い。 ・草原がたくさんあって気持ちいい。 ・草原が広い。 ・森と草原がきれい。 ・いっぱいの草原があり自然が多いところ。 ・草原がきれい。 ・草原がたくさんある。 ・草原がいっぱいある。 ・山に囲まれているから草原がいっぱいある。
<ul style="list-style-type: none"> ・あか牛がおいしい。 ・おいしい食品がいっぱいある。 ・おいしいものがある。 ・あか牛がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あか牛がいる。 ・あか牛。 ・あか牛がいること。 ・牛や馬がいっぱいいる。 ・おいしいものがいっぱいある。 ・動物もいっぱいいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・阿蘇神社があること。 ・阿蘇神社や仲町通りが自慢。 ・阿蘇神社がある。 ・商店街がある。 ・とても素敵な場所がたくさんある。 ・いろいろなお店がある。 ・賑わっている。 ・お店や建物がいっぱい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な阿蘇神社。 ・阿蘇神社があること。 ・商店街がある。 ・阿蘇神社がある。 ・温泉がいっぱいある。 ・建物がいっぱいある。 ・お店がいろいろあること。 ・スーパーがいっぱいある。 ・お店や家で賑わっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然がいっぱい。 ・自然がある。 ・自然が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然がいっぱい。 ・自然が多い。 ・自然がたくさんあってゆっくりすることができる。

<ul style="list-style-type: none"> ・自然がいっぱいあること。 ・自然がいっぱい。 ・きれいな自然がいっぱいある。 ・空気がおいしいこと。 ・緑がきれいなこと。 ・緑が多くて涼しい。 ・緑が多い。 ・祭りがいっぱいある。 ・緑が多く自然がいい。 ・緑が多い。 ・緑がいっぱいある。 ・身近なところにたくさん水があって草や木がいっぱいあるからとっても空気がおいしい。 ・昼間は暑いけど夜は涼しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然がきれい。 ・自然が多い。 ・自然がいっぱい景色がいいところです。 ・自然がいっぱいあること。 ・虫もたくさんいるし森もたくさんあって空気がとてもおいしい。 ・空気がおいしいこと。 ・熊本と違って空気がおいしい。 ・緑がたくさんあること。 ・阿蘇は緑で囲まれていて熊本市より涼しい。 ・緑がいっぱい。 ・緑がきれいなところ。 ・風景がいい。 ・風景がきれい。 ・分かれている道がいっぱいある。 ・素敵なおとこがいっぱいある。
<ul style="list-style-type: none"> ・あまりない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・無答。 ・無答。 ・無答。 ・無答。 	

○ 1回目と2回目の比較

(1) 湧水	24→31	1.3倍	(31%)
(2) 山	6→24	4倍	(24%)
(3) 草原	5→9	1.8倍	(9%)
(4) あか牛	4→6		
(5) 阿蘇神社や建物	8→9		
(6) 自然, 空気, 緑など	16→18		
(7) ない	1→0		
(8) 無答	4→0		

※全回答数 68回答→97回答

5 成果と課題

(1) 成果

① I K R調査やふるさと阿蘇（ふるさと愛着度）調査から、事前調査から事後調査において、参加した児童の自然に親しむ心や自主性、道徳性の高まりが見られた。特に、山、草原、湧水の3つのステージを用意したことにより、児童にとっては、より具体的に、より身近に、阿蘇の自然を感じる体験活動ができ、進んで自然に親しもうとする心の育成につながったのではないかと考える。また、テントの設営や野外調理、民話劇の練習・発表は、おたがいに助け合おうとする態度や自主的に活動しようとする態度の育成にとっても有意義であった。



水源探検の様子

② 阿蘇近隣に在住する方々を講師として迎え、それぞれの活動において、専門的に効果的にプログラムを展開することができた。



退所式での感想発表

- ③ ボランティアスタッフの献身的な働きで、活動時における子ども達の安全面への配慮、起床から食事、就寝に至るまでの児童達へのケア、活動の準備や片付けなどが滞りなく行われた。



阿蘇ハヤシライスづくり

(2) 課題

- ① 登山や水基めぐりなどの活動プログラムに比べて、1日をまとめたり、ふり返ったりする時間が十分に確保できなかった。そのために、班での話し合いやふり返りノートをまとめることができない日があった。
- ② 児童や活動全体を見るボランティアスタッフの配置や女子児童の入浴、部屋指導のため女性ボランティアの確保の必要性を感じた。
- ③ 教育委員会と連携し、学校の教育課程の中で実施できるようにしていきたい。